

第 5 回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 演出委員会

1 演出テーマ・コンセプトについて

【 日本初開催の東京2025デフリンピックにふさわしい式典をつくっていくために。 】

きこえない、きこえにくい人をはじめとして、誰れしもが楽しめる式典とするとともに、開催地である東京の魅力発信につながるよう、式典の演出にあたり3つのテーマを掲げました。

掲げたテーマをベースにアーティスティックプログラムなどを創作していきます。

コンセプト		テーマ（案）	コンテンツ
コミュニケーションを楽しもう	テーマ1 「ろう者の文化を共有する。」 手話言語 × 目で感じる“音”と“おと”	ろう者の文化の根源でもある「手話言語」。 手話の3要素である「手の形」、「動き」、「表情・感情」を、身体と光と音（振動）で表現	3つのテーマをベースに、オープニングプログラム、アーティスティックプログラムなどの演出プランを創作
	テーマ2 「東京・日本らしさを発信する。」 文化（歴史）× デジタル	日本のお祭りや盆踊りのお囃子で使われる「和太鼓」や歌舞伎で使われる「幕」。 これらの舞台芸術を支える演出小道具に、デジタル技術を加え、新たな演出へ	
	テーマ3 「共生社会の実現につなげる。」 リスペクト × 共創	スポーツマンシップにも共通する「リスペクト・互いの尊重」。 パフォーマー達が「きこえない」、「きこえる」などの個々人の違いを互いに知り、尊重し、それぞれの個性を活かして共に表現	

2 開会式及び閉会式の位置づけと式典プログラム

開閉会式の 位置づけ

100年目を迎えるデフリンピックの魅力やその価値を伝え、共生社会の実現につなげていく。

日本ではじめて開催されるデフリンピック。フランスではじめて開催されてから100年。
私たちは、これを契機と捉え、デフスポーツだからできることにこだわり、前例のない新しい大会をつくることに挑戦したいと考えています。
大会の“始まり”と“終わり”に行う式典は、選手や観客が一同に会し、その時間と空間を共有する唯一の場であり、東京2025デフリンピックが目指すビジョンを発信する、言わば大会の象徴となるものです。
私たちは、東京2025デフリンピックの開閉会式において、デフスポーツが持つ魅力を伝え、誰もがアスリートの活躍を間近で感ずることのできる、世界中のデフアスリート達にとって、次の100年に向けたの新しい大会の“はじまり”とするともに、全ての人が輝くインクルーシブな街・東京の実現に繋げていきます。

【開会式】 令和 7 (2025)年11月15日（土）

きこえない、きこえにくい、きこえる人達のパフォーマンス、光、音（振動）による演出で、選手達を歓迎するとともに、観客にろう文化やデフスポーツの魅力を伝え、100周年を迎える大会の始まりを祝います。	
プログラム	所要時間（想定）
オープニング	5分
選手団入場行進（70～80か国・地域）	60分
開会スピーチ	20分
開会宣言	
ICSD旗入場／掲揚	15分
炬火入場／炬火点火	
選手／役員宣誓	10分
国旗掲揚／国歌演奏	
アーティスティックプログラム	30分
エンディング	10分

【閉会式】 令和 7 (2025)年11月26日（水）

大会期間中に熱戦を繰り広げた選手達と共に、会場全体でその感動を分かち合い、それまでの努力を労うとともに、東京大会での成果を共有し、次の大会へと引き継いでいきます。	
プログラム	所要時間（想定）
オープニング	5分
選手団入場行進（70～80か国・地域）	40分
閉会スピーチ	20分
閉会宣言	
ICSD旗降納	15分
ICSD旗返還	
アーティスティックプログラム	10分

(オーディションについて)

- 対象者
- 人数
- 年齢
- 選考方法
- 時期
- その他

「ろう者の文化と舞台表現」に関するワークショップ

■ 東京2025デフリンピック開閉会式における出演者の確保に向け、きこえない、きこえにくいの方々の舞台芸術における現状を把握するとともに、現状に応じた演出方針を検討するため、以下のとおりワークショップを開催

	内容
テーマ	ろう者の文化と舞台表現に関するワークショップ
目的	東京2025デフリンピックを契機に、改めてろう文化とは何かに注目が集まっています。また、東京2025デフリンピック開催に合わせ、きこえない、きこえにくいパフォーマーが舞台に立つ機会が増えてきています。このような社会全体の大きな変化を捉え、改めて「ろう文化とは何か」を考えるとともに、ろう文化を踏まえた表現（感性）とはどのようなものかを探求していくことで、きこえない、きこえにくいパフォーマーの皆さんの活動の幅を広げていくとともに、 東京2025デフリンピック開閉会式演出の検討にもつなげていく ことを目的に開催
募集人数	きこえない、きこえにくい方：20名～30名
日時	3月第4週から4月第1週（必要な周知期間を設けたうえで確定）
会場	民間の稽古場を借り上げ予定
講師・ファシリテーター	座学：大杉氏 ワーク：大橋氏、近藤氏 サポート：最大5名
実施内容	座学：「ろう文化」について学ぶ ➡ ろう者のコミュニティや文化の考え方を考え、知る ワーク：ろう者ととともに創る ➡ きこえない、きこえにくい人ときこえる人が楽しめる演出・表現とはなにかを探る
主催・共催	主催：全日本ろうあ連盟 共催：東京都スポーツ文化事業団